



熊本市立大江小学校

# ときめき

2023.2.28(火)

No.161



文責  
松永

## 研究モデル校授業研究会の参加者の声から・・・

2月10日(金)に開催しました、熊本市教育センター研究モデル校の授業研究会にご参加いただいた方々にアンケートをお願いしました。子どもたちのいきいきと学習する様子をご覧になり、「さすが！大江小の子ども」と言った声をたくさんいただきました。こうしたご意見を参考にしながら、今後も研究実践を続けていきます。



### 2年4組 竹下学級 道徳科「ぐみの木と小鳥」

子どもたちの日常生活で起こりそうな場面を取り上げて「こんなときどうする」と考えることで、自分のこととして考えて、めあてにつないでいきました。また、役割演技を取り入れて、資料に登場する小鳥やりすの状況を体験したり、気持ちを考えたりしたことで、親切にした時に相手が喜ぶ気持ちを実感できるようにしました。



### 4年2組 黒木学級 学級活動(1)

#### 「がんばれる4年2組実現プロジェクトを考えよう」

学級目標の達成に向けて、継続してアンケートをとってきたことで見えてきた課題から、議題化につながり開かれた学級会でした。自分たちの学級をよりよくしたいという子どもたちの強い思いから、活発な意見交換となりました。司会グループもそれぞれの役割をてきぱきと進行している姿も素晴らしかったです。

### 5年3組 坂木学級 道徳科「かぜのでんわ」

教材との出会いは、絵本の読み聞かせでした。「人がなぜ辛いことや悲しいことを乗り越えられるのだろうか」というめあてにむけて、子どもたちが自分たちの経験をもとに振り返りをしていました。「自分だったら電話線のつながっていない電話に話をしに行くか」の問いに対して、自分事として考えることができました。板書も工夫されていて、自分の心の中を客観的に捉えることもできていました。



### 6年1組 日置学級 学級活動(3)

#### 「卒業プロジェクト～中学校に向けて～」

ゲストティーチャーに中学校の先生を招いて直接話を聴くようにしたことで、中学校生活を想像できない子もイメージが付きやすく、その後の目標決めも具体的に書くことができました。子どもたちの不安や疑問に寄り添い、その解決に向けて子どもたちが思いを出し合ったことで、実践への意欲も高まりました。

◆運営面の意見より◆ 参集だけでなくオンライン配信も行ったことで、じっくりゆっくり授業を見ることができたこと、画面越しでも学級の雰囲気伝わったことを喜ぶ声が聞かれました。また、駐車場、案内、受付の先生方も含め、チームとなって対応したことも評価していただきました。